

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業（やすらぎ・いたわり）

## 「赤ちゃん先生プロジェクト」事業

### 赤ちゃんに触れ合うことでいのちの大切さを教え、 一方で子育て中の母親の社会参加を応援

そこにいるだけで、その場の空気が変わったり、人々を笑顔にさせたりする赤ちゃん。赤ちゃんには人々を共感させる力がある。その赤ちゃんの力を活用し、子どもたちにいのちの大切さを教え、生み育ててもらうことへの感謝を呼び起こす「赤ちゃん先生クラス」。それはまた、子どもを持つことがメリットになるという母親たちに向けた新たな働き方の提案でもある。



年5回、赤ちゃん先生（0歳児）とママ講師、トレーナー、サブトレーナーが学校を訪れ子どもたちと触れ合う

#### 赤ちゃんが先生、ママが講師となって 学校や高齢者施設などで触れ合いを提供

神戸市に拠点を置くNPO法人「ママの働き方応援隊」では、2012年から「赤ちゃん先生クラス」を展開している。この事業は、0～3歳の赤ちゃんとその母親が教育機関や高齢者施設、企業などに出向き、赤ちゃんの存在そのものを媒介とした授業や研修、あるいは触れ合いの時間を提供するものだ。

たとえば小学校では、原則年5回、4組の赤ちゃん先生（0歳児）とママ講師、トレーナー、サブトレーナーが学校を訪れ、出産時の大変さや子どもに注ぐ愛情について話をするとともに、その成長を観察してもらう。子どもたちは1年を通して赤ちゃんに触れ合うことで、生まれたことへの感謝、い

のちの偉大さなどについて学ぶことになる。それが自己肯定感を高め、ひいては、いじめや自殺防止につながることを期待される。高校や大学では、育児体験を通して、出産や子育てを自らのキャリア形成の中はどう位置づけるのか、いわば親になるための準備と責任を学んでもらう。

実際、赤ちゃん先生クラスを体験した子どもたちからは、「自分が生まれたときのお母さんの気持ちがわかった」、「赤ちゃんの重さにいのちの重さを感じた」、「父親になったときは育児を手伝おうと思った」といった感想が多く寄せられるという。また、高齢者施設では、赤ちゃんがいることで入所者やスタッフが癒されるし、企業では研修の一環として育児体験を取り入れることで、子育ての大変さを認識するなど、ビジネスに必要な新たな発想や見方を身につけることもできる。

#### 子どもと一緒にすることで社会とつながり、 新たな働き方となるための仕組みづくり

「日本では出産を機に、未だに6割以上の女性が離職しています。その一方で、孤独な子育てに追いやられ、社会とつながることができないことでストレスを溜め込む女性もいます。いわば子どもを持つことがハンディキャップとなっている。そこに少子化の大きな要因のひとつがある。そうした社会の現状を変えるためにも、子どもを持つこと、育児をすることが、そのまま仕事になるような仕組みを考えようと思いました」。

ママの働き方応援隊の理事長、恵夕喜子さんは、赤ちゃん先生クラス設立の目的をそう話す。子どもと一緒にすることがそのまま社会とつながる仕事になる、つまり子どもを持つことがメリットになる働き方の創出が、同法人のミッションである。

赤ちゃん先生クラスは、現在、全国25カ所に支部（学校）、その下に80カ所の事業所（学級）があり、学校や学級を運営するトレーナーを含め、約1,300名のママ講師とその約1,500名の赤ちゃん先生は、各学級に所属する形になっている。ママ講師になるにはトータル10時間の講座を受講し、資格を取得する必要があるが、1回の授業で2,000円の謝金を受け取ることができる。

「赤ちゃん先生の事業をベースに、スポンサー企業と協働で母親が社会とつながるためのさまざまなスキルを学ぶママ脳大学、ママのネットワーク力を活用して企業のファンづくりを行うお仕事倶楽部など、ママの働き方を変えることで社会を変えていく事業を展開していきたい」と、恵さん。こうした取り組みもまた、子どもたちの健全育成や子育て支援の新しい取り組みと言えるだろう。



赤ちゃんに触れ合うことでいのちの大切さなどを学ぶ



ママ講師は講習を受け資格を取得。子どもを持つこと、育児をすることが、そのまま仕事になる

助成団体: 特定非営利活動法人 ママの働き方応援隊 <https://www.mamahata.net>



#### 「子育て中」がメリットになるために、ママの働き方を創造していきたい

今回の助成は、新たに立ち上がった地方の学級での説明会やスポンサー企業を確保するための営業活動などに主に活用させていただきました。おかげさまで赤ちゃん先生の活動の認知度が上がり、参加してくれるママたちも増えました。ママたちの社会参加、さらには社会問題解決のきっかけになる可能性を秘めた事業だと思いますので、今後もご支援をお願いします。

NPO法人 ママの働き方応援隊  
理事長 恵夕喜子さん